事業所名　りはなすJUNIOR別府教室

支援プログラム

作成日　2026 年　7 月　13 日

法人（事業所）理念	「しあわせにこうけん」 一、私たちは「利用者とそのご家族の幸せ」に貢献します。 一、私たちは「社員とその家族の幸せ」に貢献します。 一、私たちは「地域の幸せ」に貢献します。	
支援方針	一、一人ひとりの発達年齢や特性に応じた個別療育プログラムを中心に、専門的な支援を行います。 一、小集団での活動を通じて、社会生活に必要な基本的な体力・身体能力・集中力・コミュニケーション能力などの習得を目指します。 一、個別訓練スペース、小集団活動スペース、学習スペースなど目的別に環境を分けることで、よりきめ細やかで個別性の高い支援を提供します。 一、地域の幼稚園や保育園と積極的に連携し、地域に根ざした支援体制を構築します。また、保育園・幼稚園への円滑な移行を視野に入れた支援にも力を入れます。	
営業時間	8 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無　（あり）　なし
	支　援　内　容	
本人支援　健康・生活	こどもたちの健康と生活習慣を整えるために、毎日の活動を通じて体調や生活の様子を丁寧に見守ります。登園・降園時には、ご家族や保育園・幼稚園の先生とこまめに情報を共有し、家庭や園での様子も把握できるよう努めています。 （例）朝の会、帰りの会での健康チェック、送迎時の聞き取り・伝達	
本人支援　運動・感覚	感覚統合の考え方を取り入れ、楽しみながら身体を動かせる運動活動を行います。バランス感覚や身体の使い方を養うとともに、自信や達成感を育てます。 （例）はしご登り、飛び石わたり、跳び箱、なわとび、トランポリン、マット運動、リトミック活動	
本人支援　認知・行動	こどもたちの理解力や集中力を育むために、一人ひとりに合った提示方法を工夫した課題活動を行います。視覚や聴覚など複数の感覚を活用し、課題に取り組みやすいよう支援します。 （例）絵カードや実物を使った視覚提示、音声指示による聴覚提示、パズル・形合わせなどの空間認知活動、視知覚を育てるプリント課題	
本人支援　言語コミュニケーション	豊かな言葉にふれる機会を大切にし、支援者がこどもとのやり取りを丁寧に行います。話すだけでなく、ジェスチャーや目線など、さまざまなコミュニケーション方法を引き出せるよう支援します。 （例）絵本の読み聞かせ、自由なお話タイム、活動の振り返り、コミュニケーションカード、やりとり遊び	
本人支援　人間関係社会性	集団の中で安心して過ごしながら、自分の気持ちを伝えたり相手の話を聞いたりする練習の機会を大切にします。日常の活動の中で、社会的マナーやルールも楽しく身につけていけるようサポートします。 （例）協力して取り組む遊びや課題、順番を守る・あいさつする練習、衣服の整え方などの身だしなみ確認	
家族支援	保護者の育児に対する不安や悩みに寄り添い、気軽に相談できる体制づくりを行います。子育ての負担が少しでも軽くなるよう、家庭での工夫や支援の方法を一緒に考えながら、必要に応じて情報提供やアドバイスを行っています。	移行支援：小学校への就学や保育園への入園など、こどものライフステージの変化に応じて移行支援を行います。また、保育園と児童発達支援の利用回数や利用バランスについても、保護者の意向を丁寧に伺いながら、関係機関と連携して適切な支援を行います。
地域支援・地域連携	行政や地域の関係機関と連携を図り、地域の中で信頼される社会資源の一つとしての役割を果たせるよう努めます。必要に応じて関係機関へ足を運び、顔の見える関係づくりを大切にしながら、地域全体でこどもとその家族を支えられる体制づくりを目指します。	職員の質の向上：事業所内で定期的に内部研修を開催するほか、リハナスでは、組織的に委員会活動を展開し、サービスの質の向上を目的とした各種研修を継続的に実施しています。また、職員の行動指針に基づき、個々のスキルアップにも力を入れており、職員一人ひとりが成長できるよう、組織全体でサポート体制を整えています。
主な行事等	2月～4月 遠足　5月～6月 保護者参観　6月～8月 水遊び　9月～10月 クッキング　11月～12月 保護者参観　3月 卒所式	※年度により行事が変更になる場合があります。